



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月31日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）西本 麗
 問合せ先責任者（役職名）経理企画室長（氏名）鈴木 篤（TEL）03-6837-9304
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,669	2.0	276	182.9	254	117.7	163	123.2
2023年3月期第1四半期	3,599	△11.2	97	104.9	116	△11.9	73	△57.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	33.52	—
2023年3月期第1四半期	15.02	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	38,927	21,971	56.4
2023年3月期	39,082	22,054	56.4

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 21,971百万円 2023年3月期 22,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	1.0	350	△64.5	350	△65.6	230	△69.6	47.02
通期	20,800	11.8	900	8.1	840	△1.8	630	△8.8	128.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,900,000株	2023年3月期	4,900,000株
2024年3月期1Q	8,883株	2023年3月期	8,883株
2024年3月期1Q	4,891,117株	2023年3月期1Q	4,891,117株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和に伴い、経済活動の正常化が進み緩やかな回復が見られますが、長期化するウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や世界的なインフレの加速、各国の金融引き締めによる急激な為替変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化等による一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、機能性化学品及びファイン製品その他の需要が低下しましたが、医薬関連化学品は欧州向けの医薬関連製品の出荷などが増加したことにより、36億69百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。利益面では、マルチプラント（CMIVプラント）稼働に伴う減価償却費の増加などの減益要因があったものの、売価是正の一定の成果などの増益要因により、営業利益は2億76百万円（前年同四半期比182.9%増）、経常利益は2億54百万円（前年同四半期比117.7%増）、四半期純利益は1億63百万円（前年同四半期比123.2%増）となりました。

（製品グループ別売上高）

製品グループ		前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品	医薬関連化学品	1,199	33.3	1,977	53.9	778	64.9
	機能性化学品	1,808	50.3	1,281	34.9	△527	△29.1
	その他	591	16.4	410	11.2	△180	△30.5
	計	3,599	100.0	3,669	100.0	70	2.0

（単位：百万円）

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、売掛金及び未収消費税（流動資産その他）が減少しましたが、棚卸資産などが増加し、前事業年度末に比べ1億60百万円増加の150億90百万円となりました。

固定資産は、減価償却費の計上などにより、前事業年度末に比べ3億15百万円減少の238億36百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ1億55百万円減少し、389億27百万円となりました。

（負債）

流動負債は、短期借入金が増加しましたが、買掛金の増加などにより、前事業年度末に比べ29百万円増加の87億9百万円となりました。

固定負債は、受注損失引当金の減少などにより、前事業年度末に比べ1億1百万円減少の82億46百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ71百万円減少し、169億56百万円となりました。

（純資産）

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いなどにより、前事業年度末に比べ83百万円減少し、219億71百万円となりました。自己資本比率は56.4%となり、前事業年度末からの変動はありません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期業績予想について修正しております。

詳細につきましては、2023年7月31日付「2024年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	368	633
売掛金	4,650	3,521
商品及び製品	4,156	6,591
仕掛品	2,385	1,673
原材料及び貯蔵品	2,089	2,271
その他	1,280	399
流動資産合計	14,930	15,090
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,641	8,563
機械及び装置（純額）	10,583	10,459
建設仮勘定	431	385
その他（純額）	3,678	3,629
有形固定資産合計	23,335	23,037
無形固定資産	100	93
投資その他の資産		
投資有価証券他	721	710
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	716	706
固定資産合計	24,152	23,836
資産合計	39,082	38,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,788	3,288
短期借入金	3,150	1,650
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	114	97
受注損失引当金	39	33
賞与引当金	163	-
その他	1,923	2,140
流動負債合計	8,679	8,709
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
退職給付引当金	1,894	1,921
受注損失引当金	157	70
その他	296	254
固定負債合計	8,348	8,246
負債合計	17,028	16,956

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	18,126	18,046
自己株式	△14	△14
株主資本合計	22,006	21,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48	45
評価・換算差額等合計	48	45
純資産合計	22,054	21,971
負債純資産合計	39,082	38,927

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,599	3,669
売上原価	2,563	2,618
売上総利益	1,035	1,050
販売費及び一般管理費		
発送費	91	67
給料手当及び賞与	258	261
退職給付費用	15	15
試験研究費	237	263
その他	334	165
販売費及び一般管理費合計	937	774
営業利益	97	276
営業外収益		
受取配当金	4	2
為替差益	22	-
雑収入	0	1
営業外収益合計	27	3
営業外費用		
支払利息	6	12
為替差損	-	12
雑損失	1	0
営業外費用合計	8	25
経常利益	116	254
特別損失		
固定資産除却損	8	12
特別損失合計	8	12
税引前四半期純利益	108	241
法人税等	35	78
四半期純利益	73	163

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。